

令和5年度 諫早市地域包括ケア推進協議会

諫早市地域包括ケアシステム の取組み及び今後の課題

令和5年11月13日

諫早市地域包括ケア推進課

目次

(1) 諫早市の現状 2

(2) 地域包括ケアシステムのイメージと推進体制 5

(3) 在宅医療・介護連携推進事業 7

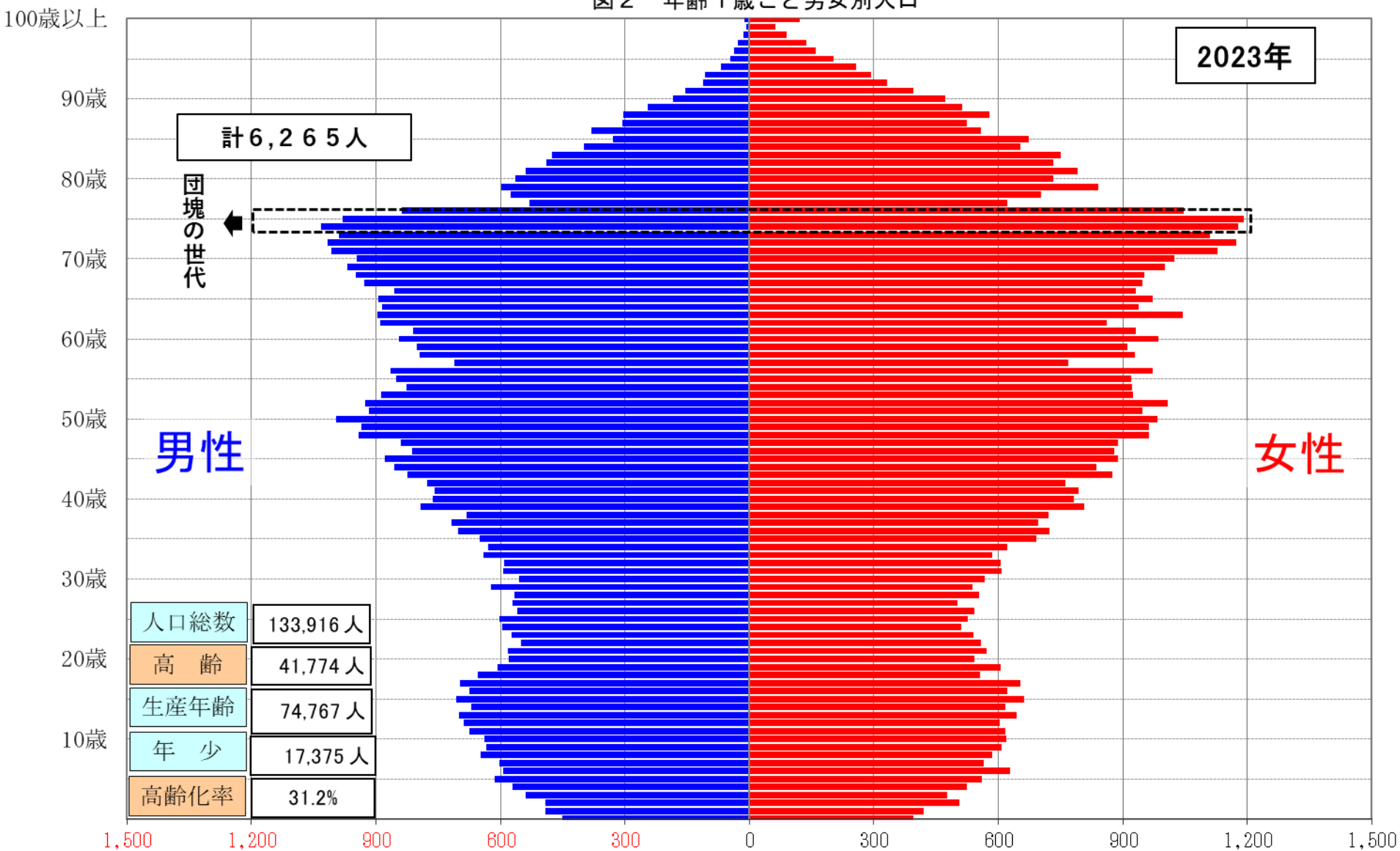
(4) 認知症対策推進事業 10

(5) 介護予防・日常生活支援推進事業 13

(6) 地域包括ケアシステム充実状況・今後の課題 17

人口の年齢構造（諫早市 R5.9.1現在）

図2 年齢1歳ごと男女別人口



本市人口の推移・見込み

(単位：人)

区分	2018年 (平成30年)	2023年 (令和5年)	2025年 (令和7年)	2040年 (令和22年)
総人口	137,409	132,124	130,395	113,319
15歳未満	18,573	17,141	16,605	12,957
15～39歳	33,383	28,831	27,709	21,892
40～64歳	45,711	43,485	42,647	33,848
65歳以上	39,742	42,667	43,434	44,622
前期高齢者数(65～74歳)	19,746	19,543	18,931	16,644
後期高齢者数(75歳以上)	19,996	23,124	24,503	27,978
高齢化率	28.9%	32.3%	33.3%	39.4%

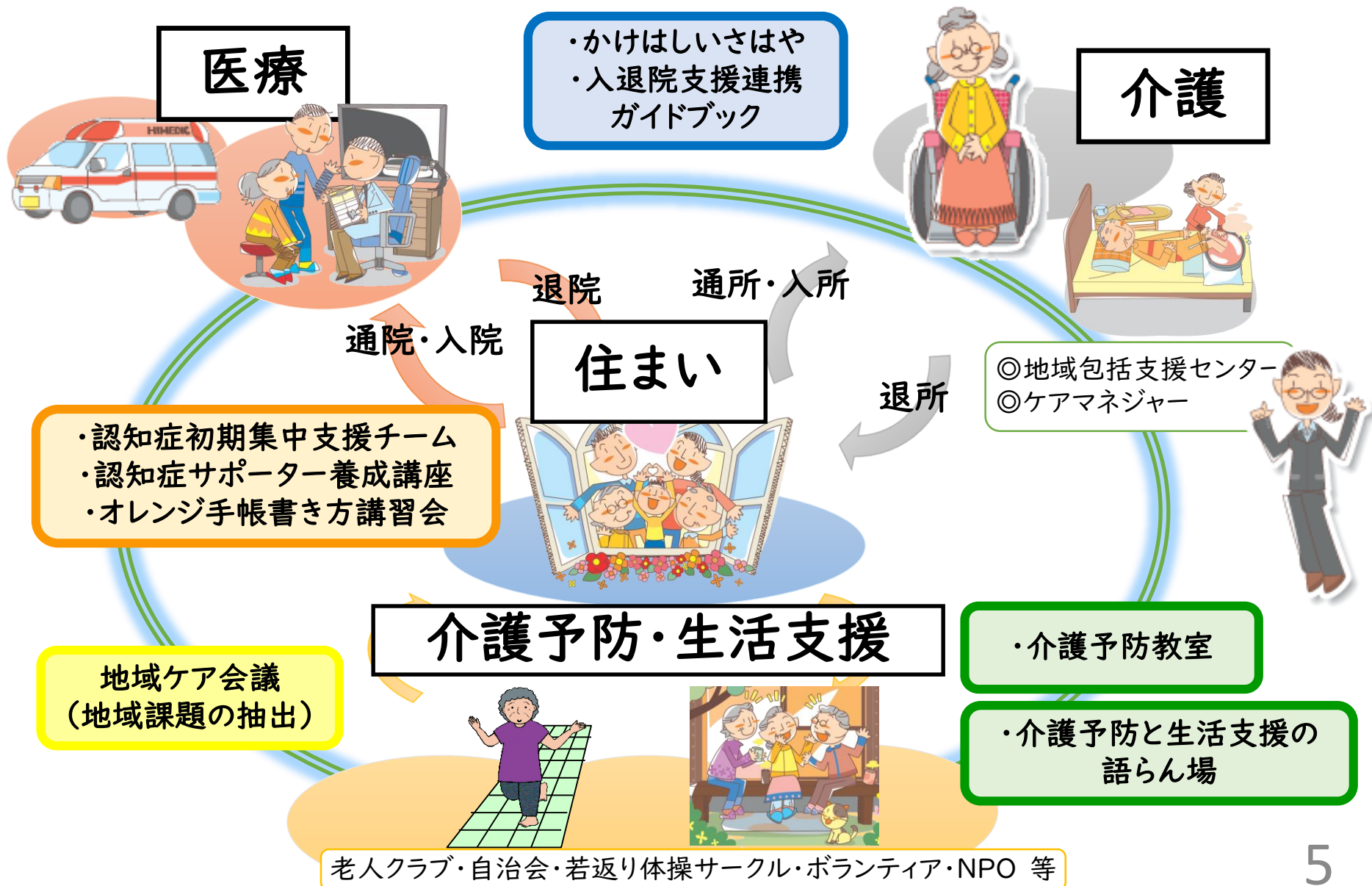
出所：高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画

要介護認定者数の状況（諫早市 R5.4現在）

年齢	高齢者	認定者数	認定率	介護度別内訳 ((B)の内訳)						
階層	人口	(B)	(B)/(A)							
	(A)			支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5
歳	人	人	%	人	人	人	人	人	人	人
65-69	9,498	183	1.9	23	26	51	26	28	17	12
70-74	10,658	513	4.8	85	83	128	60	60	61	36
75-79	7,605	783	10.3	157	138	176	88	89	84	51
80-84	6,108	1,426	23.3	305	243	343	164	155	135	81
85-89	4,485	2,150	47.9	349	319	526	295	263	276	122
90-	3,294	2,453	74.5	212	286	519	388	456	389	203
計	41,648	7,508	18.0	1,131	1,095	1,743	1,021	1,051	962	505
(再掲)										
65-74	20,156	696	3.5	108	109	179	86	88	78	48
75-	21,492	6,812	31.7	1,023	986	1,564	935	963	884	457
計	41,648	7,508	18.0	1,131	1,095	1,743	1,021	1,051	962	505

(注) 高齢者人口は、R5.4.1現在。

諫早市地域包括ケアシステムのイメージ



諫早市における地域包括ケアの推進体制

諫早市地域包括ケア推進協議会【16名】

(地域包括ケアシステム構築のための有識者や関係機関、関係団体の代表者で構成)



地域
ケア
会議

在宅医療・
介護連携推進会議

【14名】

認知症対策
推進会議

【14名】

介護予防・日常
生活支援推進会議

【14名】

(市レベル)
|
(圏域レベル)

圏域別地域ケア会議 (中央部・北部・西部・南部・東部)

個別地域ケア会議 (中央部・北部・西部・南部・東部)



住民主体の活動組織 (自治会、民生委員等)

(3) 在宅医療・介護連携推進事業

(敬称略)

<在宅医療・介護連携推進会議>

委員:松尾 彰	(諫早医師会)
福島 喜代康	(諫早医師会)
河井 洋祐	(諫早市歯科医師会)
工藤 学	(諫早市薬剤師会)
村川 由紀	(諫早総合病院)
江島 美樹	(長崎県訪問看護ステーション連絡協議会)
米倉 康佑	(長崎県医療ソーシャルワーカー協会)
千葉 隆平	(長崎県老人福祉施設協議会 県央ブロック施設代表者会)
道口 誠	(長崎県老人保健施設協会)
徳益 広明	(諫早市グループホーム連絡協議会)
酒井 美紀	(長崎県介護支援専門員協会諫早支部)
下屋敷 元子	(諫早市地域包括支援センター運営法人代表者会議)
濱崎 由紀	(県央保健所)
東 聖治	(諫早市健康保険部)

※前回会議時点

在宅医療・介護連携推進事業の実施一覧

普及啓発

- 市民講演会
- お気軽座談会
- ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の取組

情報共有 相談支援

- 諫早市入退院支援連携ガイドブック
- 諫早市在宅医療・介護連携支援センター
『かけはしいさはや』

研修会

- 在宅医療・介護関係者研修会
- 多職種意見交換会

在宅医療・介護連携推進事業の取組み

諫早市在宅医療・介護連携支援センター (かけはしいさはや)

連携

地域包括ケアシステムの一環として、在宅生活の継続に必要な医療と介護サービスの連携を図る為、専門職からの医療・介護連携に係る相談支援を行うことなどにより、在宅生活に必要なサービスを円滑に提供できる体制を構築する。

- 【設置場所】健康福祉センター1階
- 【職員体制】2名体制（事務職及び保健師）
- 【実施方法】諫早医師会への業務委託により実施

諫早市入退院支援連携ガイドブック

情報共有

要介護者が入退院する際の、ケアマネジャーと医療機関の基本的な情報提供の手引き

平成30年 4月 運用開始
令和 2年 4月 改訂
令和 3年12月 改訂



ACP（アドバンス・ケア・プランニング） の取組

普及啓発

ACP（人生会議）とは

本人の大切にしていることや望み、どのような医療やケアを望んでいるかについて、自分自身で考え、信頼する人たちと繰り返し話し合うこと

人生の最終段階の在り方を
考えてもらうための“きっかけ”



専門職や市民へ広く普及していく



ACP市民講演会

高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、市民向け講演会を開催し、ACPの普及啓発を行う。



令和5年3月4日
たらみ図書館
参加者数119名

(4) 認知症対策推進事業

(敬称略)

<認知症対策推進会議>

- 委員: 宮田 史朗 (諫早医師会・諫早市認知症専門嘱託医)
宇賀 達也 (諫早医師会)
納富 拓 (諫早市歯科医師会)
宮崎 彰宣 (諫早市薬剤師会)
近藤 祐子 (長崎県訪問看護ステーション連絡協議会)
大川 由美子 (長崎県作業療法士会)
松田 陽平 (長崎県医療ソーシャルワーカー協会)
原口 学 (諫早市通所サービス事業所連絡協議会)
村上 慎太郎 (諫早市グループホーム連絡協議会)
森 鮎美 (長崎県介護支援専門員協会諫早支部)
市丸 憲二 (諫早市民生委員児童委員協議会連合会)
田島 勝歳 (諫早市老人クラブ連合会)
永尾 久美子 (諫早市連合婦人会)
太田 栄子 (認知症の人と家族の会 長崎県支部 諫早つつじ会)

※前回会議時点

認知症対策推進事業の実施一覧

普及啓発

- 認知症講演会
- 認知症サポーター養成講座
- いさはやオレンジ手帳
- 認知症SOS模擬訓練
- 市報特集

本人・家族 支援

- 専門相談
- 認知症初期集中支援チーム
- 認知症ケアパス ○いさはやオレンジ手帳
- オレンジ連携シート ○多職種協働研修
- 高齢者見守り(ペンダント・GPS)

本人 発信支援

- 講演会等での認知症ご本人の意見を反映
- いさはやオレンジガイド(簡易版認知症ケアパス)

認知症対策推進事業の取組み

認知症ケアパス

本人・家族支援

認知症の進行や、その人の状況に合わせて、いつ、どこで、どのような医療や介護サービスを受ければよいかを示したもの



平成29年度に完成
厚生労働省主催のコンテストにて「優秀賞」受賞

多職種協働研修

本人・家族支援

認知症の人の生活を地域で支えていくため、認知症ケアにかかわる医療職や介護職の連携を促進し、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせる町づくりを目的として、年1回開催



配信期間：R5.8.17～10.20
視聴回数：758回 (R5.10.19現在)

認知症SOS模擬訓練

普及啓発

地域での見守り体制を強化し、今後増加することが見込まれる認知症の人の行方不明などに迅速に対応できるように実施



令和元年11月19日開催
参加者160名

簡易版認知症ケアパス 「いさはやオレンジガイド」

本人発信支援

本人視点を盛り込んだ簡易版認知症ケアパス。推進会議の意見を伺いながら、修正などを加え、R4年度完成。



令和4年度完成

(5) 介護予防・日常生活支援推進事業

(敬称略)

<介護予防・日常生活支援推進会議>

- 委員:小無田 要 (諫早医師会)
奥村 晃 (諫早市歯科医師会)
松尾 雄太 (諫早市薬剤師会)
佐藤 慶美 (長崎県歯科衛生士会諫早支部)
山口 晃樹 (長崎県理学療法士協会)
林田 貴文 (諫早市通所サービス事業所連絡協議会)
森芳 正 (長崎県介護支援専門員協会諫早支部)
安部 正 (諫早市自治会連合会)
原 章 (諫早市社会福祉協議会)
井手 洋一郎 (諫早市地区社協会長会)
立野 政美 (諫早市民生委員児童委員協議会連合会)
田島 勝歳 (諫早市老人クラブ連合会)
竹市 保彦 (諫早市シルバー人材センター)
平山 百合子 (諫早市食生活改善推進協議会)

※前回会議時点

介護予防・日常生活支援推進事業の実施一覧

普及啓発

- 介護予防教室
- 短期集中予防サービス
- 介護予防と生活支援の「語るん場」
- 地域づくりフォーラム(パネル展)

活動支援

- 若返り体操サークル
- ふれあいいいきいきサロン
- 体力測定及び評価分析
- 地域リハビリテーション活動支援

住民発信 支援

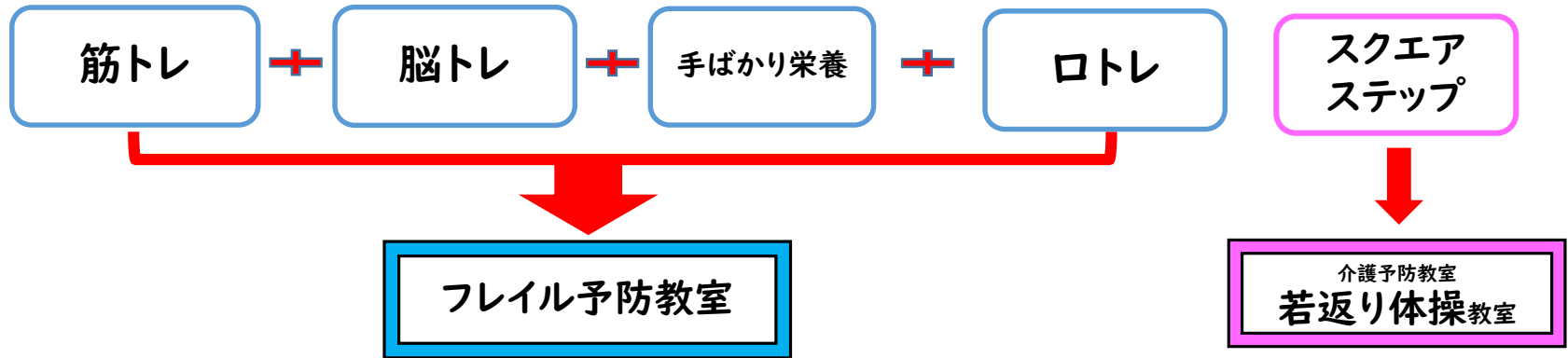
- 介護予防と生活支援の「語るん場」
- 地域づくりフォーラム(パネル展)

介護予防と日常生活支援推進事業の取組み

フレイル予防教室（筋トレ、脳トレ、手ばかり栄養、ロトレ）、若返り体操教室

介護予防

65歳以上のすべての高齢者を対象として、要介護状態の発生を防ぎ、要介護状態になっても、その軽減や悪化を防ぐことを目的に実施



月1回
市内25教室を開催
市独自の統一したプログラム

教室終了後も自主グループとして活動を継続できる
よう、事業所と地域包括支援センターと共に支援

筋トレ

筋トレ 内転筋筋トレ 片足ずつ5回

I-⑦

1. 手は膝の上 2. 大きく上げて 3. 外側に開く
4. 大きく上げて 5. 内側に閉じる

※足を開くときに身体ごと開かないように注意する

脳トレ

脳トレ 足踏みをしながら[50]まで数える 3の倍数で手をたたく

I-A②

1. 2. 3. 4. 5. 6. ... 45. 46. 47. 48. 49. 50

※足はなるべく高く上げる

手ばかり栄養

手ばかり栄養 牛肉ともやしの炒め煮

1-②

材料	分量	消費カロリー
牛肉(もも)	150g	172kcal
もやし	120g	12kcal
豆	大さじ1杯	12kcal
ねぎ	1本	11kcal
トータル		207kcal

ロトレ

ロトレ ステージ3 口腔体操(お口の筋トレ)

③舌を出して、上下、左右に動かしてみよう。(10回)

介護予防と日常生活支援推進事業の取組み

介護予防と生活支援の「語らん場」

生活支援体制整備

高齢者が住み慣れた地域で、安全・安心な日常生活を送ることができるよう、地域住民を主体とする集いの場づくりや、見守り活動、住民同士の生活支援などについて話し合うために開催

平成28年度からモデル3地区で開催
平成30年度から市内全域で開催
(20地区18か所)
令和3年度から自治会単位の語らん場を開催
開催回数：222回 / 参加人数：延6,690人

語らん場で得た気付き、やる気をもとに…。

◎町ぐるみで取り組むための
土壌作りをしよう

- ・班長会に生活支援コーディネーターを呼んで勉強会
- ・ミニ語らん場を開き意見交換
- ・男性・退職者を引き出す仕組

◎困りごとを調べてみよう

- ・サロン・老人クラブ・民生委員等で
困りごと調査

◎今の組織を見直して強くしていこう

- ・市介護予防教室から活性化
- ・継続するための意見交換

◎動きだすための組織を立ち上げよう

- ・自治会に協議会を新設
- ・ボランティア隊の準備委員会立ち上げ
- ・先進自治会の情報収集・視察

◎まずはやってみよう

- ・複数自治会で協力し集いの場を立ち上げ
- ・2025年に向けた集いの場

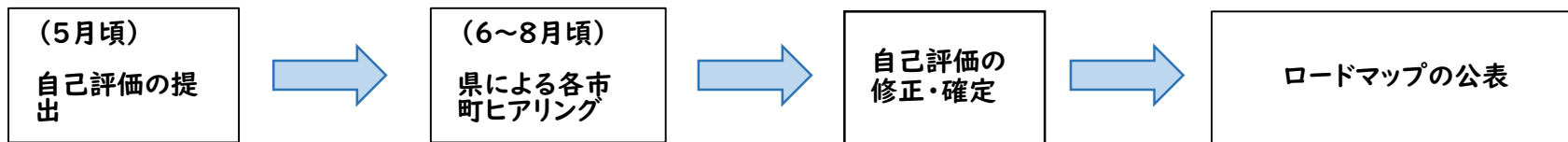
わが町に必要な生活支援・介護予防

語らん場から生み出された各地域の取組
(一部抜粋)

- 集いの場
- 介護予防
- 生活支援
- ミニ語らん場

(6) 地域包括ケアシステムの自己評価

自己評価の流れ



地域包括ケアシステム構築ロードマップ

長崎県では、地域包括ケアシステムの構築に向けて、目指す姿や、達成目標年度、そのために実施する推進方策等を内容とする「地域包括ケアシステム構築ロードマップ」を県内21市町が策定し、地域の実情に応じた各種取組を推進しています。

各市町が前年度の取組を振り返り、必要に応じて計画を変更する等PDCAサイクルを回しながら取組を進めています。

自己評価

- ・平成29年度から県が独自に作成した8分野78項目の評価指標で実施
- ・令和3年度の自己評価の結果については、県内124圏域中122圏域で「概ね構築された」
- ・令和4年度評価から新たな評価指標を導入し、各市町が地域包括ケアシステムの**構築から充実**へとステップアップを図る
- ・関係団体や住民と協働しながら地域包括ケアシステムの充実に向けたPDCAサイクルでの一層の取組推進に繋げていく

基本的方向性に基づく指標の整理

現在の分野設定

- A 医療
- B 介護
- C 保健・予防
- D 住まい・住まい方
- E 生活支援・見守り等
- F 専門職・関係機関のネットワーク
- G 住民参画(自助・互助)
- H 行政の関与・連携



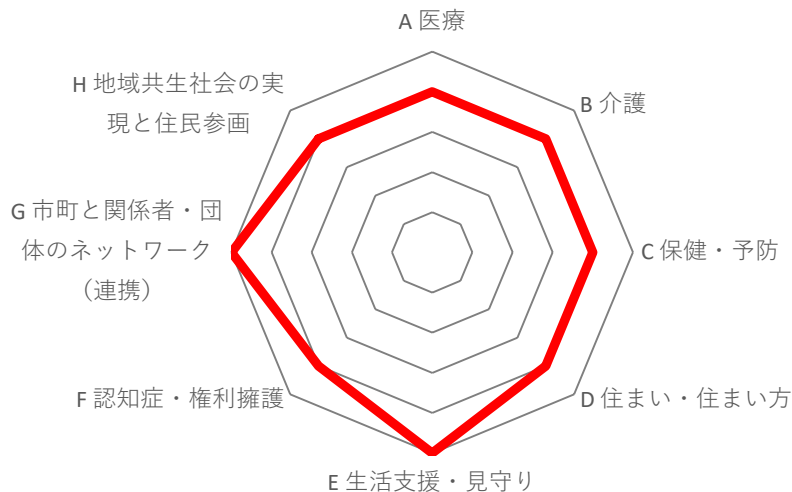
新たな分野設定

- A 医療
- B 介護
- C 保健・予防
- D 住まい・住まい方
- E 生活支援・見守り等
- F 認知症・権利擁護
- G 市町と関係者・団体のネットワーク(連携)
- H 地域共生社会の実現と住民参画

(6) 地域包括ケアシステムの充実状況①

レーダーチャート(充実傾向)

地域包括ケアシステム推進状況



基本情報 (R5.3.31 現在)

総人口	134,380人
高齢者数(率)	41,653人 (31.00%)
前期高齢者数(率)	20,159人 (15.00%)
後期高齢者数(率)	21,494人 (15.99%)
要介護認定率	12.80%
要支援認定率	5.40%

諫早市の特徴、地域包括ケアシステム構築に向けた主な取り組み

- 「かけはしいさはや(在宅医療・介護連携支援センター)」を中心に、在宅医療やACP について地域住民への普及啓発に熱心に取り組んでいる。
- 「語らん場(2層協議体)」を通して地域の細かな課題を把握し、通いの場や生活支援の創出などにつながっている。
- 地域包括ケアシステムの取組状況を紹介する特設サイトの設置や広報誌の特集記事掲載など市民への啓発に力を入れて取り組んでいる。
- 地域別版認知症ケアパスを作成し、地域の実情に応じた認知症対策に取り組んでいる。

地域包括ケアシステム充実状況②

自己評価シートA H 分野における諫早市としての課題認識

【A 医療】

・ACP について、昨年より重点的に取り組み始めたが周知がまだ不十分であるため、市民や専門職向けの普及啓発に取り組んでいきたい。

【B 介護】

・9期計画策定に向け、介護施設の基盤整備を検討しているが、実態調査や事業所の要望調査の結果も参考に、需要と供給を踏まえ、検討したい。今年度は介護の日にイベントを計画中。

【C 保健・予防】

・継続的に活動できるような支援、サービスCの実績が上がるための支援を行っていく。

【D 住まい・住まい方】

・住宅改修の専門職の関わり方について、情報把握の方法の見直しを検討したい。

【E 生活支援・見守り】

・語らん場で把握した 地域 課題の解決に向け、生活圈域の住民と関係が把握できることで、集いの場や通いの場ができているため、何が必要なのか把握し検討していきたい。

【F 認知症・権利擁護】

・チームオレンジの設置に向けた取組を検討していきたい。

【G 市町と関係者・団体のネットワーク（連携）】

・今後も顔の見える関係を築いていきたい。

【H 地域共生社会の実現と住民参画】

・語らん場の 活用と住民の参画に向けた啓発を進めていきたい。

地域包括ケアシステム充実状況③

諫早市として考える一番の課題認識

○医療についてはACP、看取りの充実、介護予防については住民主体の取組につなぐことに力をいれたい。地域包括ケアシステムの市民の認知度はまだ充分でないため、なぜ必要なのかも含めて今後も周知を続けていきたい。

有識者のまとめ

○地域包括ケアの認知度進んだと思う。市の覚悟も感じた。プロダクトを含めて目に見えて実績や活動があがっている。語らん場の取り組みを進めることで、住民に近いところの活動や参画になってほしい。専門職の活用をいろいろな場面で協力して進めてほしい。

ヒアリングを終えて県が認識した諫早市の課題

- 庁内連携を図りながら、保健事業と介護予防の一体的取組を推進していく必要がある。
- 質の高い地域リハビリテーション活動の展開にあたって、地域リハビリテーション広域支援センターや協力機関と更なる連携を意識した活動展開を図っていく必要がある。
- 認知症サポーター養成講座は実施しているが、サポーターの活用に至っていないため、チームオレンジの設置を視野に入れながら、ステップアップ講座の開催などの取組を進めていく必要がある
- 地域ケア会議については、各包括支援センター間の質の標準化を図り、市全体で自立支援に資するケアマネジメントや施策形成に向けた取組を推進する必要がある。

在宅医療・介護連携推進事業の今後の課題

○看取りの充実

医療・介護サービスの情報をわかりやすく情報伝達し、ACPの普及啓発及び在宅医療の充実を図る。

認知症対策推進事業の今後の課題

○本人発信支援

認知症の普及啓発を認知症の本人の経験や気づきなどから発信を行う。
認知症の人がよりよく暮らすことを支えるための仕組みや人が必要であり、認知症本人の声を大切に考えていきたい。

○チームオレンジの立ち上げ検討

認知症サポーターの近隣チームによる認知症の人や家族に対する生活面の早期からの支援等を行う「チームオレンジ」の立ち上げを検討。

介護予防と日常生活支援推進事業の今後の課題

介護予防

地域での自主的活動の継続支援

介護予防の習慣化の支援を行い、高齢者の生きがいづくりや介護予防につなげる。

生活支援

総合事業の充実に向けた検討

地域での自立した日常生活を支援するための検討を進める。



諫早 高齢者 ささえあい

検索

高齢者が住みなれた地域で
安心して暮らせるよう
諫早市が推進している
「地域包括ケアシステム」の
取組状況を紹介するサイトです。

